

音声告知放送システム

全国瞬時警報システム(J-ALERT)



株式会社メディアトライ

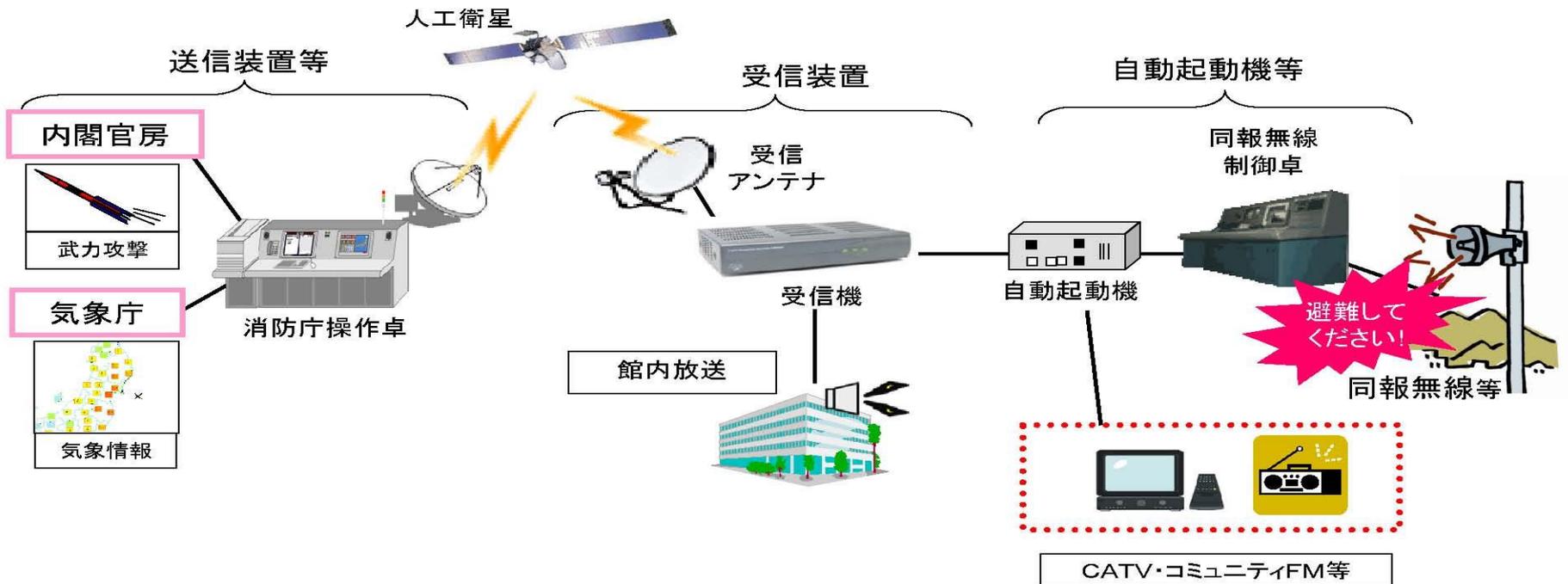
全国瞬時警報システム（J-ALERT）とは…

全国瞬時警報システム（J-ALERT）は、津波警報、緊急地震速報、弾道ミサイル情報等の即時に対応が必要な情報を、人工衛星を経由し地方団体に送信し、同報無線を自動起動し、瞬時にサイレンや音声により住民に通報を行うシステムです。

従来の情報伝達手段では、国から住民への情報伝達に少なくとも数分以上を要していました。J-ALERTは、僅か数秒間で住民への伝達が可能となる画期的な仕組みで、多くの国民の生命を救済することができると期待されています。

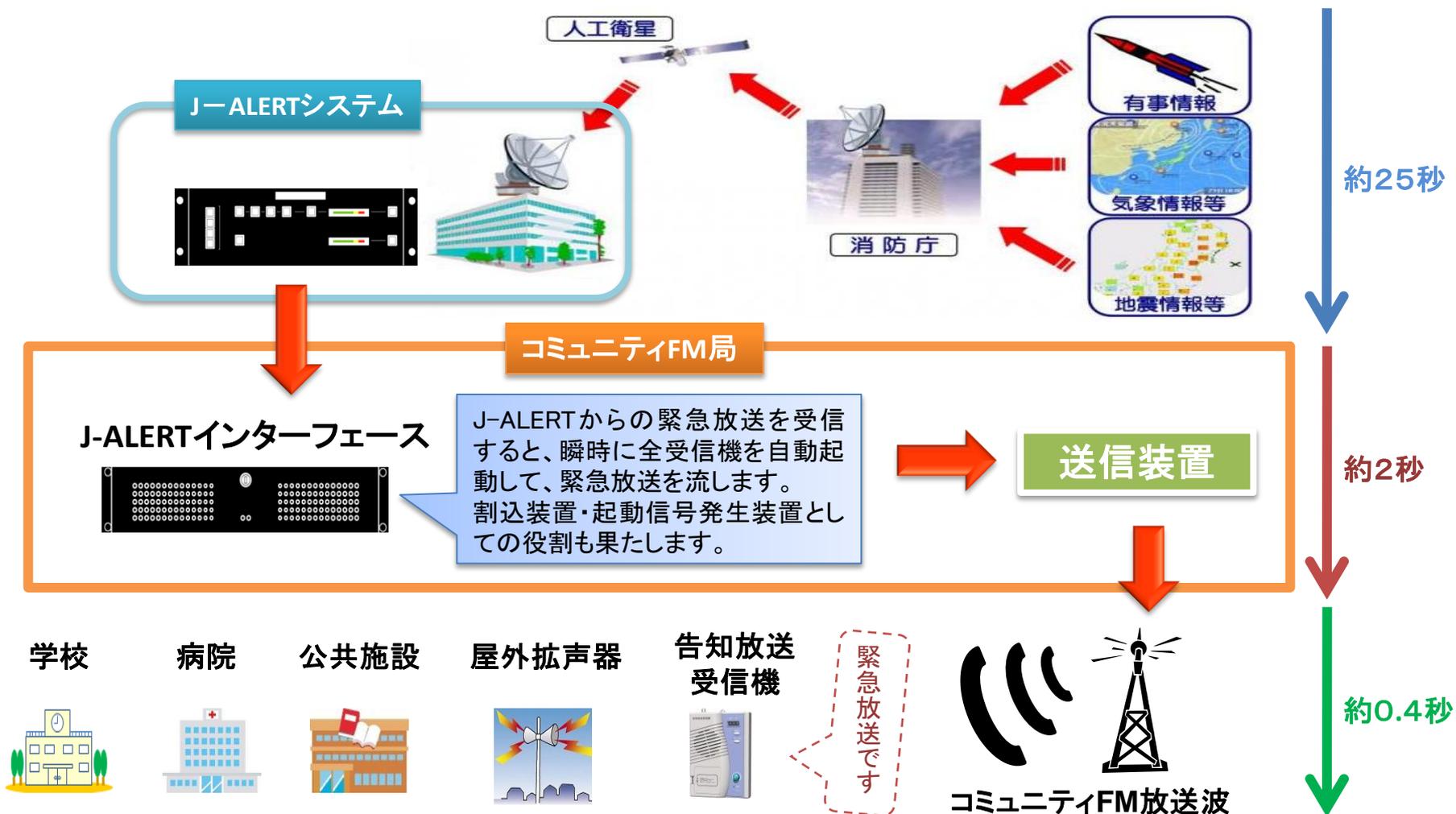
国に設置

地方公共団体に設置



告知放送を利用したJ-ALERTシステムの流れ

J-ALERTシステムと告知放送システムを連動することにより、J-ALERTシステムを受信した際、自動的に音声告知放送システムに放送を流すことが可能となります。

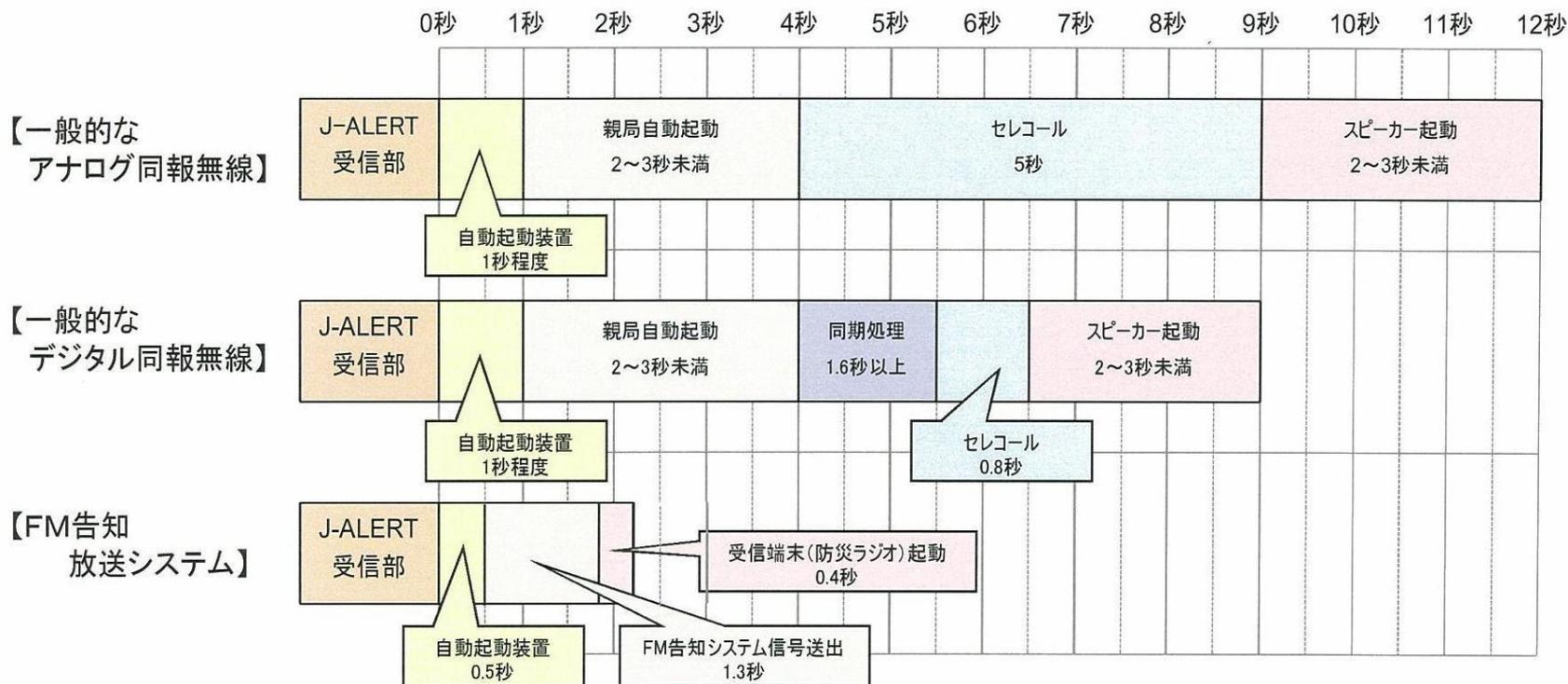


コミュニティFMを利用したJ-ALERT放送システムの特長

① 起動時間の早さ

FM帯域の放送波を利用しており、また、経由する機器が1つしかないため、放送遅延を最小限に抑えた放送が可能です。

■ 同報無線とFM告知放送システムの比較 ■

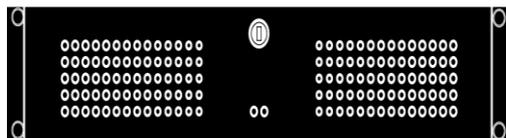


コミュニティFMを利用したJ-ALERT放送システムの特長

② 低コスト

他のシステムと比較して、受信機・システム機器のコストが格段に安いいため、多くの場所に受信機を設置できます。

また、J-ALERTインターフェースは割込装置・起動信号発生装置と兼用しているため、ひとつの機器で安価に放送を流すことが可能です。



J-ALERTインターフェース

・ 割込装置、起動信号発生装置兼用

③ 新たなインフラを構築する必要がない

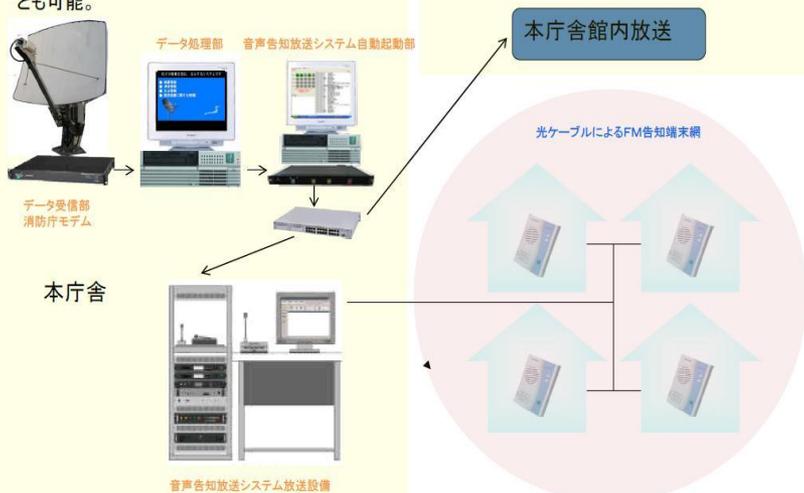
コミュニティFMを利用するため、放送用に新たにインフラを整える必要はありません。また、既存の屋外拡声器などを利用して放送も可能です。

導入事例

- 香川県まんのう町(ケーブルテレビ網使用)及び滋賀県草津市(コミュニティFM使用)の導入事例が消防庁資料で紹介されました。

香川県まんのう町 光ケーブルを利用したFM告知(例)

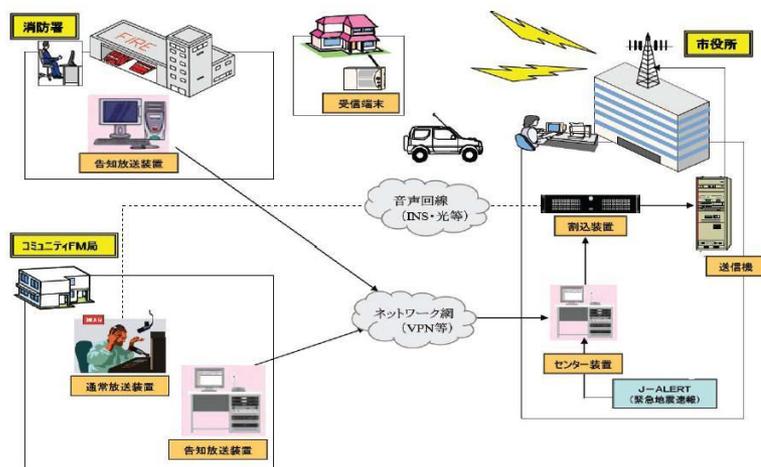
- ケーブルテレビ網を活用し、戸別のFM告知端末(受信機)及び屋外スピーカーにより音声を伝達するシステム。
- 光ファイバを活用することにより、受信から伝達までが瞬時に行え、既存のケーブルテレビ網を活用することで比較的安価に整備ができることが特徴。テレビ画面でテロップ等の文字情報を伝達することも可能。



11

滋賀県草津市 コミュニティFMによる告知放送(例)

- コミュニティFMを利用した戸別の告知端末(受信機)及び屋外スピーカーにより音声を伝達するシステム。
- 各種告知(一般放送)や緊急放送を確実に伝達するため、受信端末は自動起動機能があり、電源のON・OFFにかかわらず放送を受信することが可能。また、起動時間が同報無線より短いため、J-ALERT RT等の瞬時警報の伝達に有効。



12